

定員適正化計画を策定しました。

～ 10年後の職員数 370 人を目標～

市では、財政の健全性の維持と多様化・複雑化する行政需要に的確に対応していくため、また、義務的経費である人件費を適正とするために、市職員の定員適正化計画を策定しました。

1 定員適正化の目標

平成17年4月1日現在の職員数502人から132人を純減し、10年後の平成27年4月1日には370人を目標とします。(縮減率 26.3%)

2 定員適正化の手法

- (1) 事務事業等の見直し
- (2) 委託化の推進
- (3) 職員採用の抑制
- (4) 勸奨退職制度の活用
- (5) 人材育成の推進
- (6) 人材派遣会社、臨時職員の活用

3 今後5年間の年次別適正化計画

部門	内訳	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般 行政 部門	4/1 職員数	350	340	332	321	314	303
	対前年増減数	-	△10	△8	△11	△7	△11
	累計増減員数	-	△10	△18	△29	△36	△47
特別 行政 部門	4/1 職員数	123	117	117	116	116	114
	対前年増減数	-	△6	0	△1	0	△2
	累計増減員数	-	△6	△6	△7	△7	△9
公営 企業等 部門	4/1 職員数	29	33	33	33	33	33
	対前年増減数	-	4	0	0	0	0
	累計増減員数	-	4	4	4	4	4
計	4/1 職員数	502	490	482	470	463	450
	対前年増減数	-	△12	△8	△12	△7	△13
	累計増減員数	-	△12	△20	△32	△39	△52

■ 上記の数値には、教育長を含んでいません。

● 上記の表中、一般行政部門は、議会、総務、税務、民生、衛生、労働、農林水産、商工、土木関係職員。特別行政部門は、教育、消防関係職員。公営企業等部門は、国保、上下水道、介護保険、農業共済関係職員を対象としています。

■ 問い合わせ 職員課 672 - 6116 (直通)

「兵庫のじぎく債」のご案内

☆朝来市では、市民の皆様からの資金をもとに、地域の発展のための事業に役立てるため、兵庫県及び他市町と共同で「兵庫のじぎく債」を発行します。

▶ 「ひょうごのじぎく債」は、事業実施に必要な資金を調達するため、兵庫県及び市が共同で発行する地方債を、直接市民の皆様にご購入いただくことで、行政をより身近なものとして理解していただくことを目的とし、今回で4回目の発行となります。(朝来市は初めての参加となります。)

▶ 「兵庫のじぎく債」は全体で、100億円発行され、このうち、朝来市としては1億円発行し、ケアハウスの建設に、この資金を活用します。

▶ この「兵庫のじぎく債」は5年満期一括償還(年2回の利払い)で、5月中旬の発行を予定しています。(募集期間は4月中旬から5月初旬に、各取扱金融機関において募集します。)利率等、詳細につきましては、決定後直ちに朝来市ホームページ、CATV文字放送などでお知らせいたします。

■ 問い合わせ 財務課 TEL 672 - 6117 (直通)

